

## 組立・施工説明書

# 変形敷地対応セット

SS ポートGⅢ

ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

### 《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「変形敷地対応セット SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ」の組み立て、施工について説明しています。  
本体に同梱の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

## 本説明書内の表記

### 警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。  
内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

# もくじ

---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.3</b>
同梱一覧	P.3
角度割り出し表・三角関数表	P.5
<b>入隅（水上側）の取り付け</b>	<b>P.6</b>
制作制限	P.6
切断・加工	P.7
鼻隠しの取り付け	P.10
<b>入隅（水下側）の取り付け</b>	<b>P.13</b>
制作制限	P.13
切断・加工	P.14
鼻隠しの取り付け	P.17
<b>出隅 A の取り付け</b>	<b>P.21</b>
制作制限	P.21
切断・加工	P.23
鼻隠しの取り付け	P.26
<b>出隅 B（右コーナー）の取り付け</b>	<b>P.28</b>
制作制限	P.28
切断・加工	P.29
鼻隠しの取り付け	P.31
<b>出隅 B（左コーナー）の取り付け</b>	<b>P.33</b>
制作制限	P.33
切断・加工	P.34
鼻隠しの取り付け	P.36

# 安全にお取り扱いいただくために

---

## 作業前に確認してください

- 本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。



- 部材の切り詰め・加工の際は、事前に部材の仮配置などを行い、切断箇所を確認してください。

# 作業前の確認

## 同梱一覧

### ■出隅自在コーナー部品 MCD-(DS)-EV-A

姿 図				
品 名	出隅自在コーナー キャップA	出隅自在コーナー キャップB	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)
品 番	<b>3K-32426</b>	<b>3K-32427</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>
個 数	2	2	12	2
備 考	—	—	出隅自在コーナー キャップ取り付け用	鼻隠し取り付け用

### ■入隅コーナー部品 MCD-(DS)-EV-B

姿 図						
品 名	コーナーキャップ	入隅コーナー キャップ	入隅コーナー 連結金具	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)
品 番	<b>3K-32423</b>	<b>3K-32425</b>	<b>6K-12761</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>
個 数	1	1	1	4	3	4
備 考	—	—	—	コーナーキャップ 取り付け用	入隅コーナー キャップ 取り付け用	入隅コーナー 連結金具 取り付け用

姿 図			
品 名	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	穴塞ぎシール
品 番	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>K-41844</b>
個 数	1	2	1
備 考	止水板、鼻隠し 連結用	鼻隠し 取り付け用	—

■雨樋部品 MCD-(DS)-EV-C

姿 図						
品 名	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	止水板	止水板	ドレイン	中トラスタッピンねじ (φ4×25)
品 番	<b>EA-F1N</b>	<b>2K-38866</b>	<b>7K-10873</b>	<b>7K-10874</b>	<b>K-36979</b>	<b>BM-4025GD8</b>
個 数	1	1	1	1	1	8
備 考	—	—	L	R	—	止水板取り付け用

姿 図		
品 名	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)	タッピンねじ (φ5×10) (コーティング剤塗布)
品 番	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>ET-5010-SC</b>
個 数	6	2
備 考	雨樋セット 取り付け用	ドレイン 取り付け用

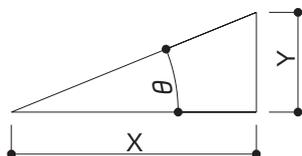
■たて樋 MCD-(DS)-QT30

姿 図	
品 名	たて樋
品 番	<b>2K-38903</b>
個 数	1
備 考	L=3000

■たて樋 MCD-(DS)-QT13

姿 図	
品 名	たて樋
品 番	<b>2K-38903</b>
個 数	—
備 考	L=1300

## 角度割り出し表・三角関数表



$\theta$	X	Y	$\cos \theta$	$\tan \theta$
1.0°	1000	17	0.99985	0.01746
1.5°		26	0.99966	0.02619
2.0°		35	0.99939	0.03492
2.5°		44	0.99905	0.04366
3.0°		52	0.99863	0.05241
3.5°		61	0.99813	0.06116
4.0°		70	0.99756	0.06993
4.5°		79	0.99692	0.07870
5.0°		87	0.99619	0.08749
6.0°		105	0.99452	0.10510
7.0°		123	0.99255	0.12278
8.0°		141	0.99027	0.14054
9.0°		158	0.98769	0.15838

# 入隅（水上側）の取り付け

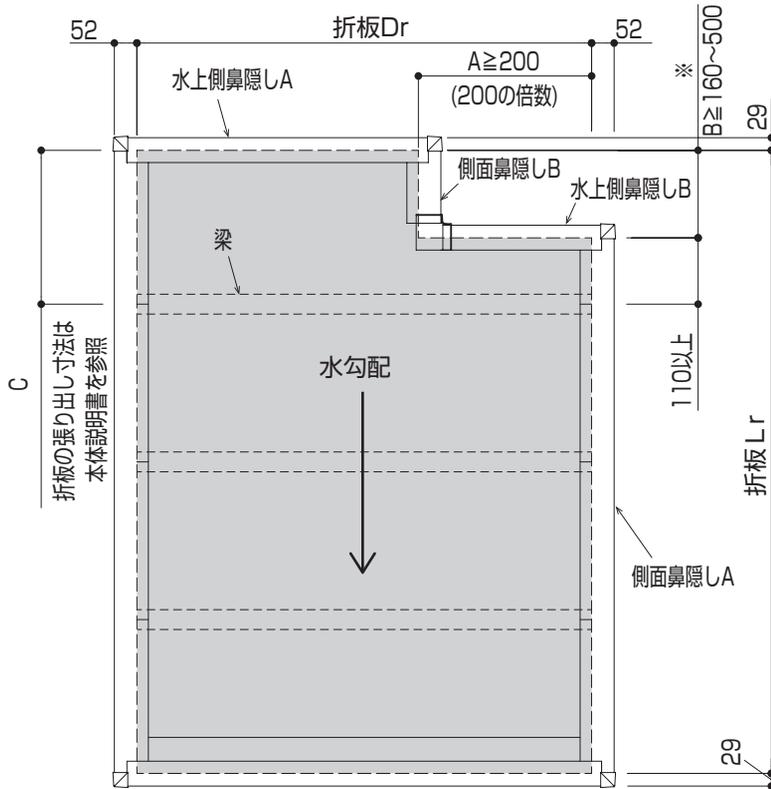
## 制作制限



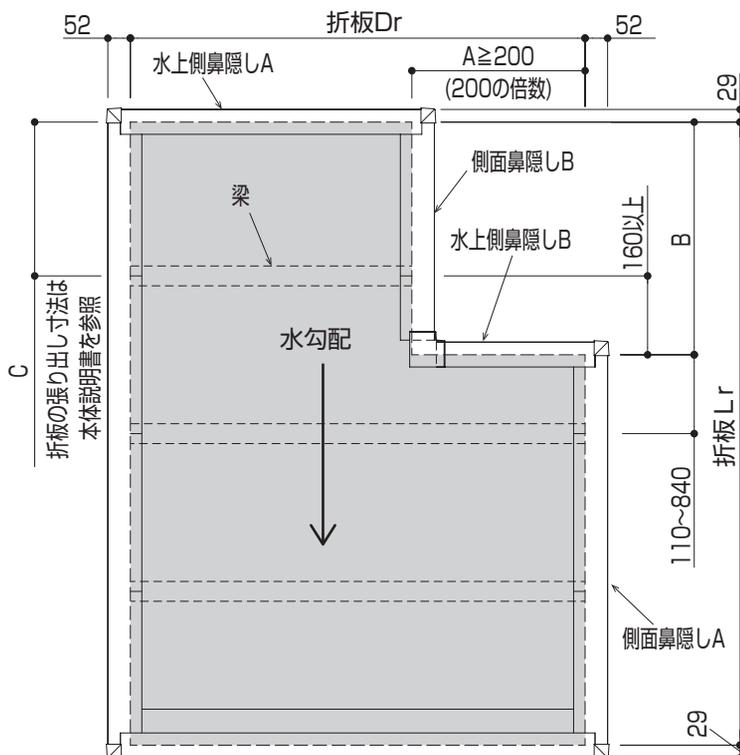
- 4本柱の場合、梁を超えて切り詰めることはできません。
- 入隅寸法Aは、折板山ピッチ200の倍数としてください。

### ● 入隅部に梁が入らない場合

※：4本柱仕様のみ



### ● 入隅部に梁が入る場合



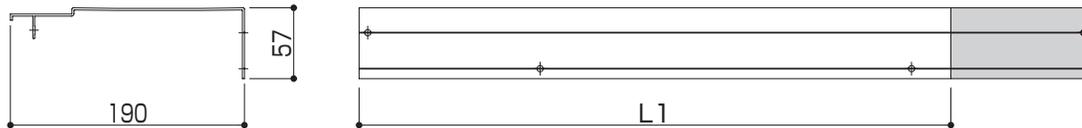
## 切断・加工

-  部は切断部を示しています。

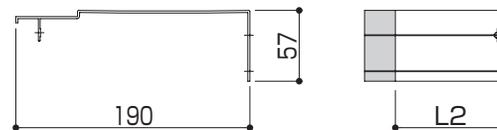
### 水上側鼻隠し

1 水上側鼻隠しを切断してください。

#### ● 水上側鼻隠しA



#### ● 水上側鼻隠しB



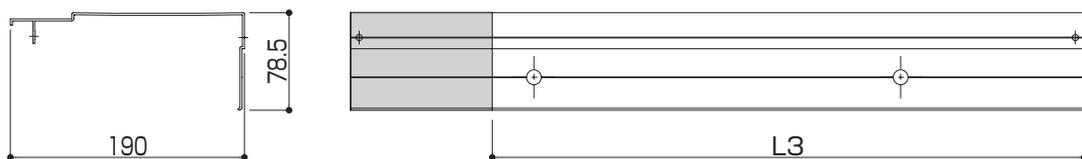
#### ■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	水上側鼻隠しA	水上側鼻隠しB
	Dr	Lr	A	$L1 = Dr - A + 46$	$L2 = A - 22$
	5400	5390	1200	4246	1178

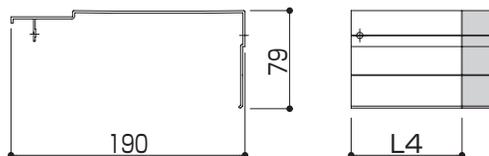
### 側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断してください。

#### ● 側面鼻隠しA



#### ● 側面鼻隠しB

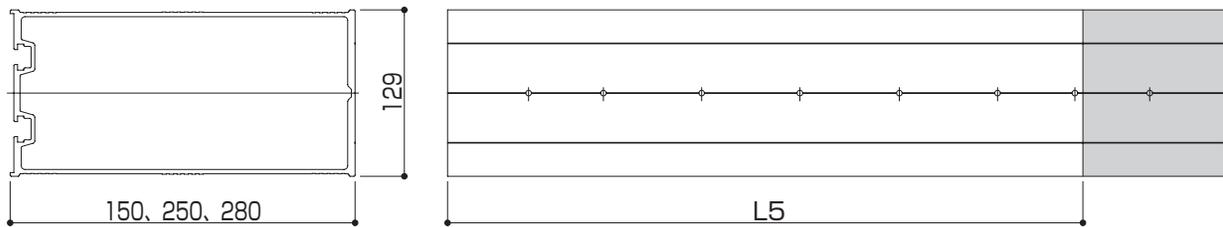


#### ■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr	B	$L3 = Lr - B$	$L4 = B - 30$
	5400	5390	300	5090	270

## 梁（入隅部に梁が入る場合）

1 梁を切断してください。



### ■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	梁
	Dr	Lr	A	$L5 = Dr - A$
	5400	5390	1200	4200

## タイトフレーム（中間用）（入隅部に梁が入る場合）



### ・入隅寸法Aが600の倍数以外の場合

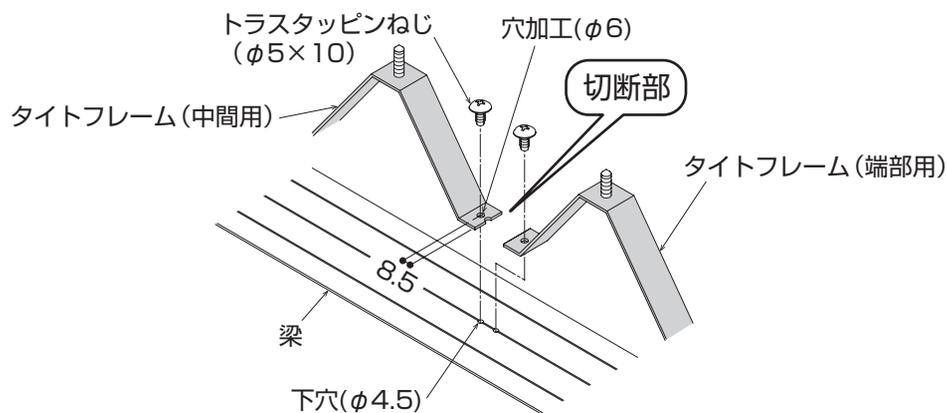
タイトフレーム（中間用）の切断、加工を行ってください。

入隅寸法A	タイトフレーム（中間用）切断、加工
600の倍数	不要
600の倍数以外	必要

1 タイトフレーム（中間用）を入隅寸法Aにあわせて、谷の中心で切断してください。

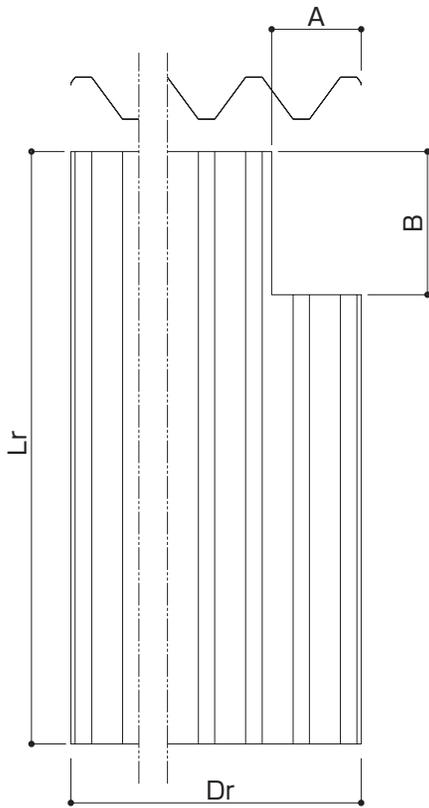
2 切断面から8.5mmの位置に穴加工（φ6）してください。

3 梁に下穴（φ4.5）をあけ、タイトフレームを取り付けてください。



## 折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

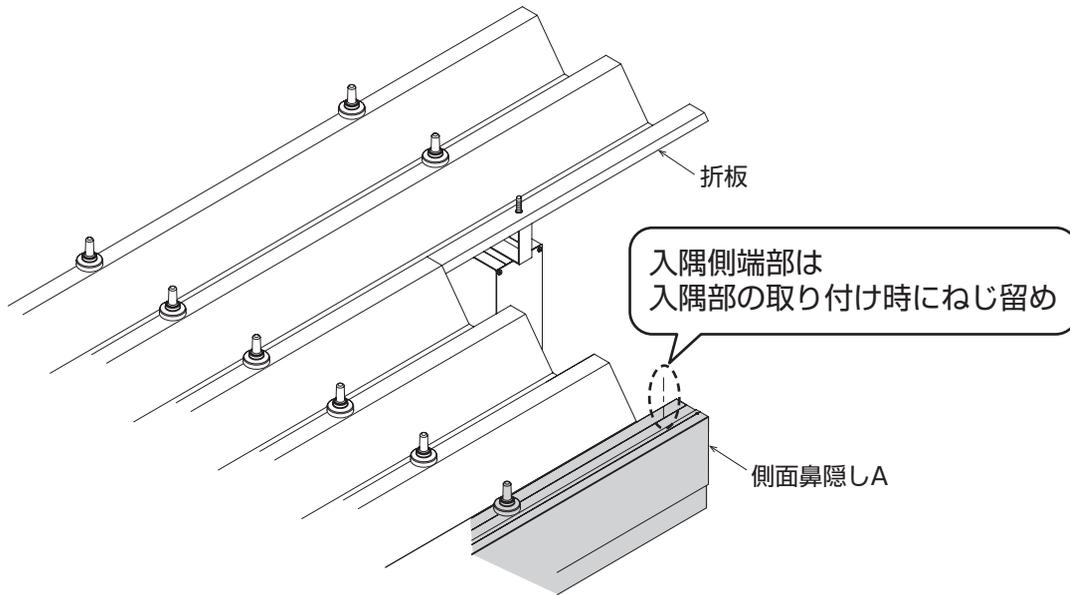
### ■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	
	Dr	Lr	A	B
	5400	5390	1200	300

## 鼻隠しの取り付け

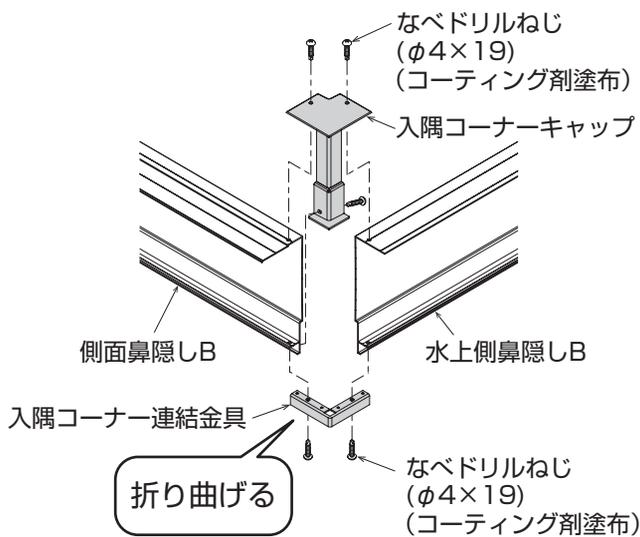
### 側面鼻隠しAの取り付け

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。  
ただし、入隅側端部は入隅部の取り付け時にねじ留めしてください。

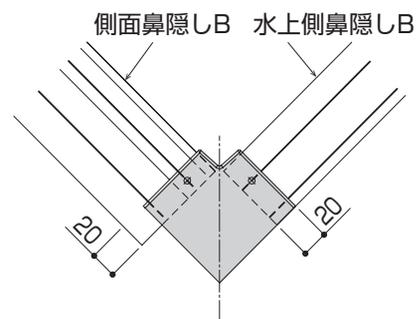


### 水上側鼻隠しBと側面鼻隠しBの連結

- 1 入隅コーナー連結金具を入隅部の角度にあわせて、折り曲げてください。
- 2 側面鼻隠しBと水上側鼻隠しBを入隅コーナー連結金具と入隅コーナーキャップで連結してください。

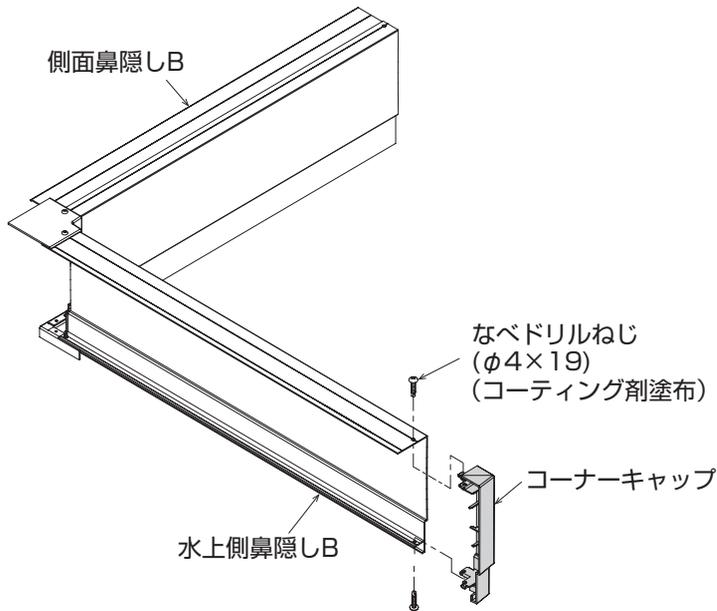


#### ● 入隅コーナーキャップのみ込み寸法



- 現合でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。

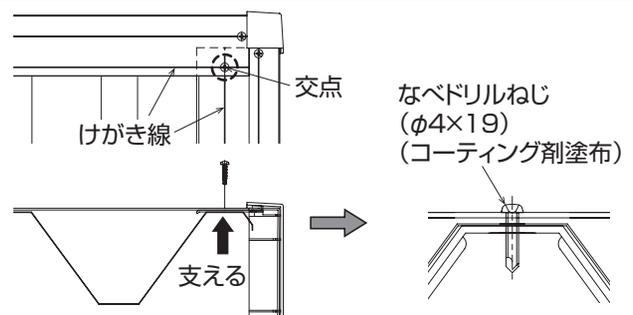
**3** コーナーキャップを水上側鼻隠しBの端部に取り付けてください。



**入隅部の取り付け**

**お願い**

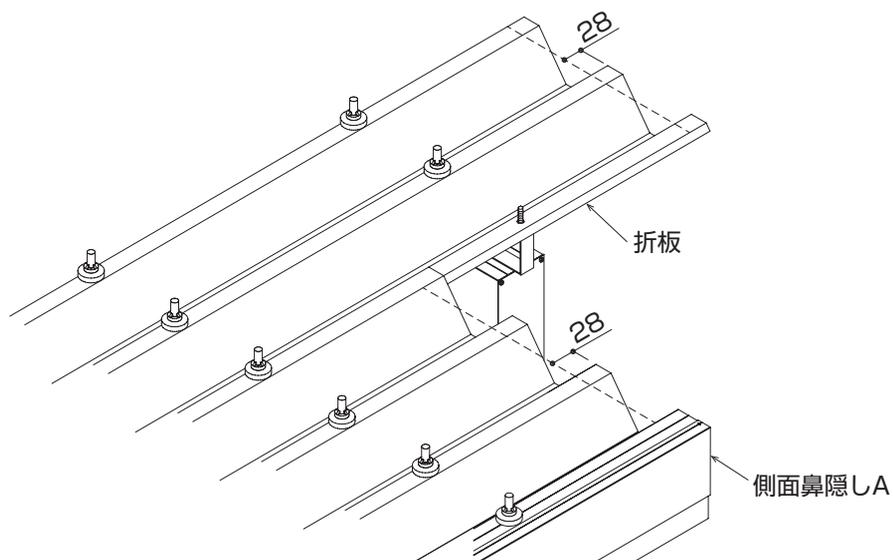
- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



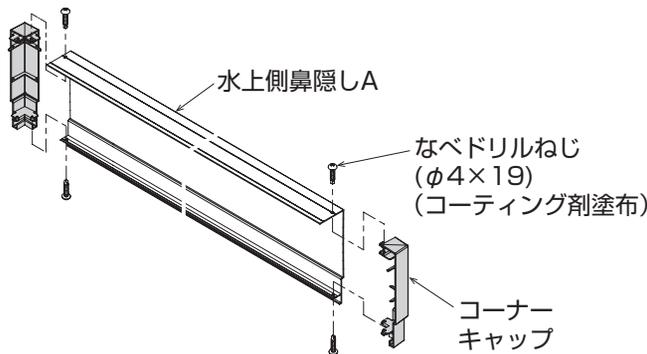
**1** 折板の端部から28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



- 折板にけがき線などのキズをつけないでください。サビの原因となります。



**2** コーナーキャップを水上側鼻隠しAの両端部に取り付けてください。



**3** 水上側鼻隠しBを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しAと連結してください。

**4** 水上側鼻隠しAを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しBと連結してください。

**5** **入隅部に梁が入る場合**

側面鼻隠しBを折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたきこんでください。

**6** 水上側鼻隠しBと側面鼻隠しBの穴にあわせ、現合で折板、側面鼻隠しAと水上側鼻隠しAに取り付けてください。

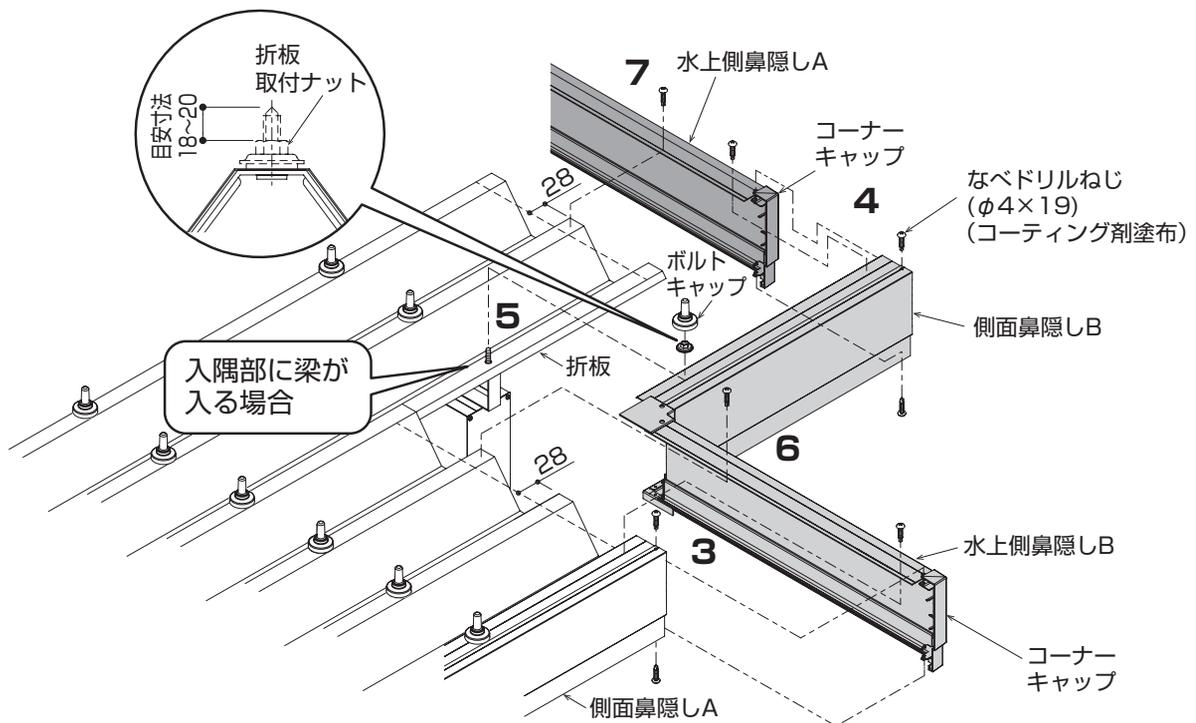
**7** 水上側鼻隠しAの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。

**お願い**

• 折板のねじは、垂直に取り付けてください。ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。

○

×



# 入隅（水下側）の取り付け

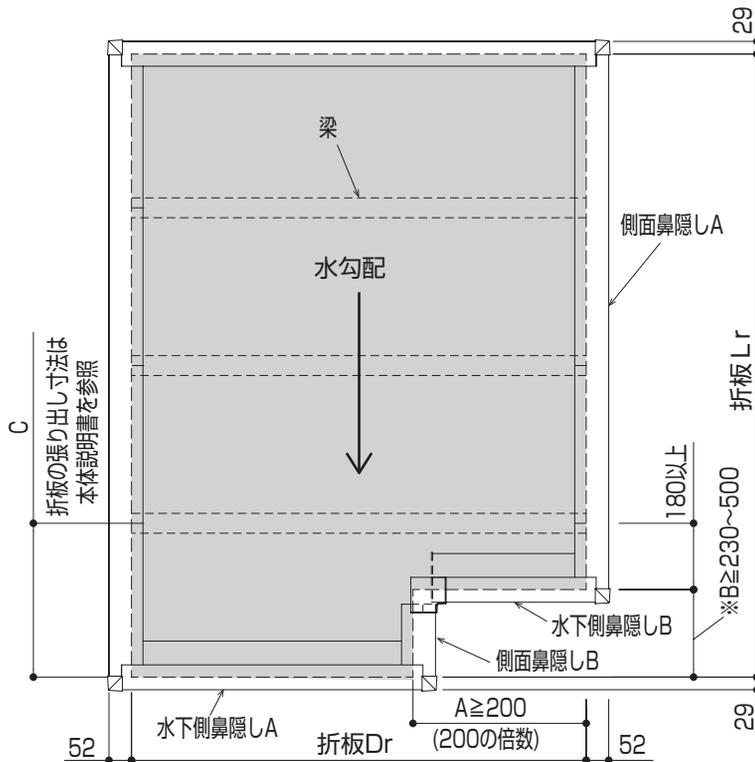
## 制作制限



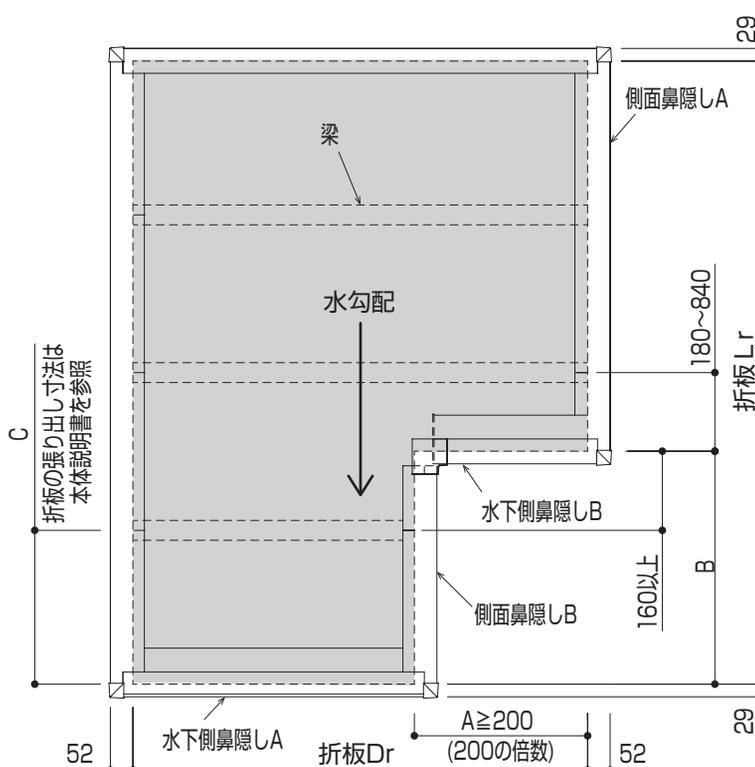
- 4本柱の場合、梁を超えて切り詰めることはできません。
- 入隅寸法Aは、折板山ピッチ200の倍数としてください。

### ● 入隅部に梁が入らない場合

※：4本柱仕様のみ



### ● 入隅部に梁が入る場合



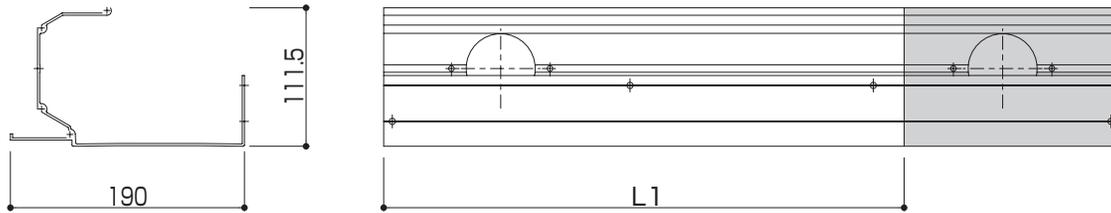
## 切断・加工

- 部は切断部を示しています。

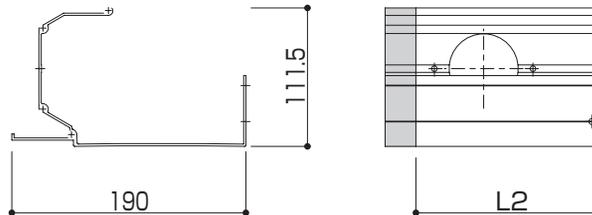
### 水下側鼻隠し

1 水下側鼻隠しを切断してください。

● 水下側鼻隠しA



● 水下側鼻隠しB



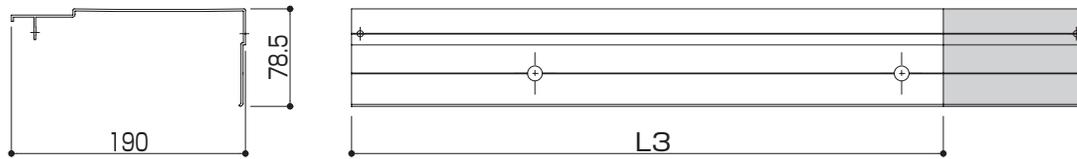
■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	水下側鼻隠しA	水下側鼻隠しB
	Dr	Lr	A	$L1 = Dr - A + 46$	$L2 = A - 22$
	5400	5390	1200	4246	1178

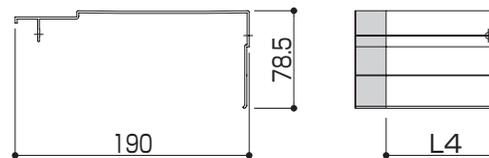
## 側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断してください。

### ●側面鼻隠しA



### ●側面鼻隠しB

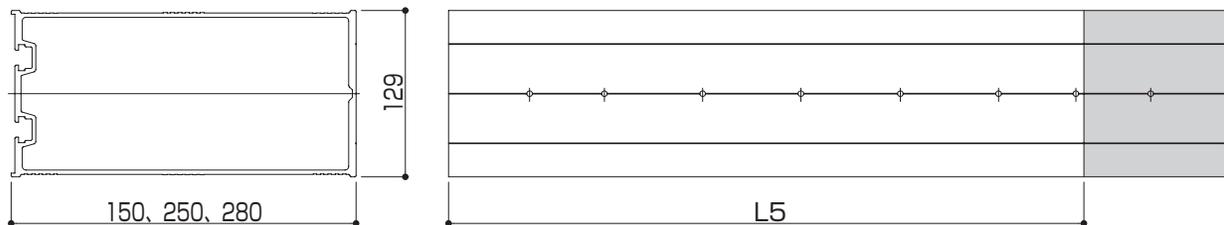


### ■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr	B	$L3=Lr-B$	$L4=B-30$
	5400	5390	300	5090	270

## 梁（入隅部に梁が入る場合）

1 梁を切断してください。



### ■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	梁
	Dr	Lr	A	$L5=Dr-A$
	5400	5390	1200	4200

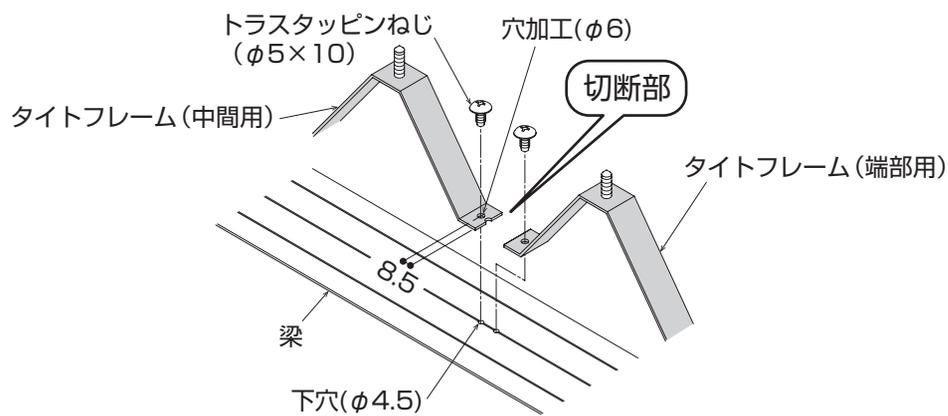
## タイトフレーム（中間用）（入隅部に梁が入る場合）



- 入隅寸法Aが600の倍数以外の場合は、タイトフレーム（中間用）の切断、加工を行ってください。

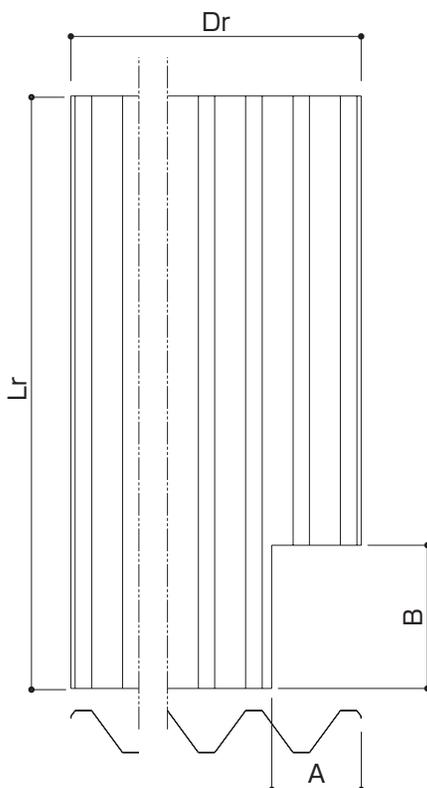
入隅寸法A	タイトフレーム（中間用）切断、加工
600の倍数	不要
600の倍数以外	必要

- 1 タイトフレーム（中間用）を入隅寸法Aにあわせて、谷の中心で切断してください。
- 2 切断面から8.5mmの位置に穴加工（ $\phi 6$ ）してください。
- 3 梁に下穴（ $\phi 4.5$ ）を明け、タイトフレームを取り付けてください。



## 折板

- 1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

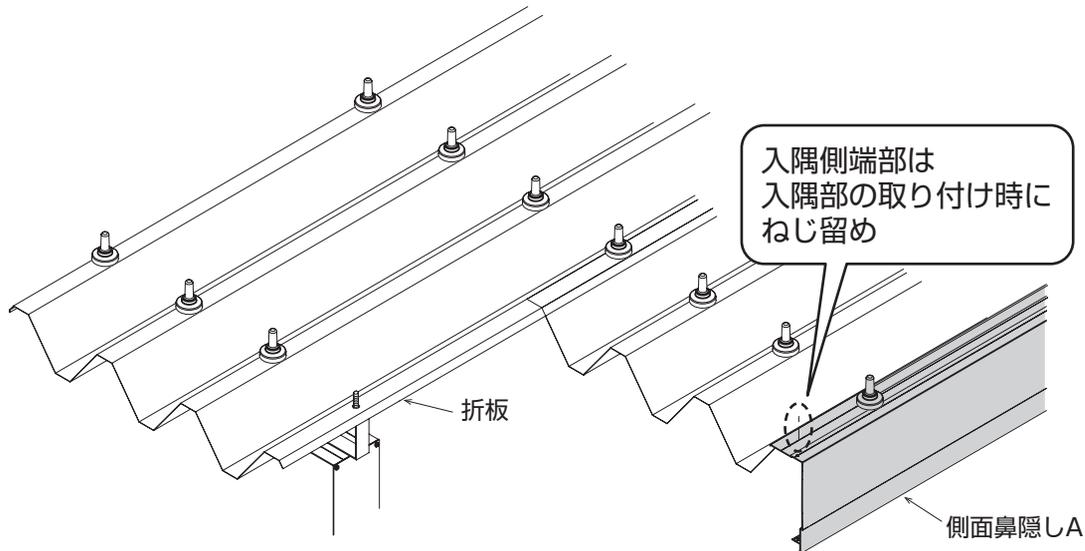
### ■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	
	Dr	Lr	A	B
	5400	5390	1200	300

## 鼻隠しの取り付け

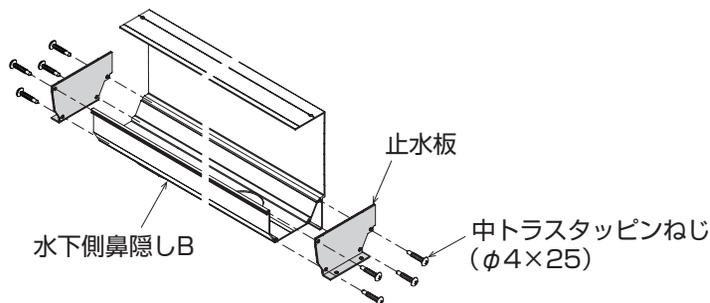
### 側面鼻隠しAの取り付け

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。  
ただし、入隅側端部は、入隅部の取り付け時にねじ留めしてください。

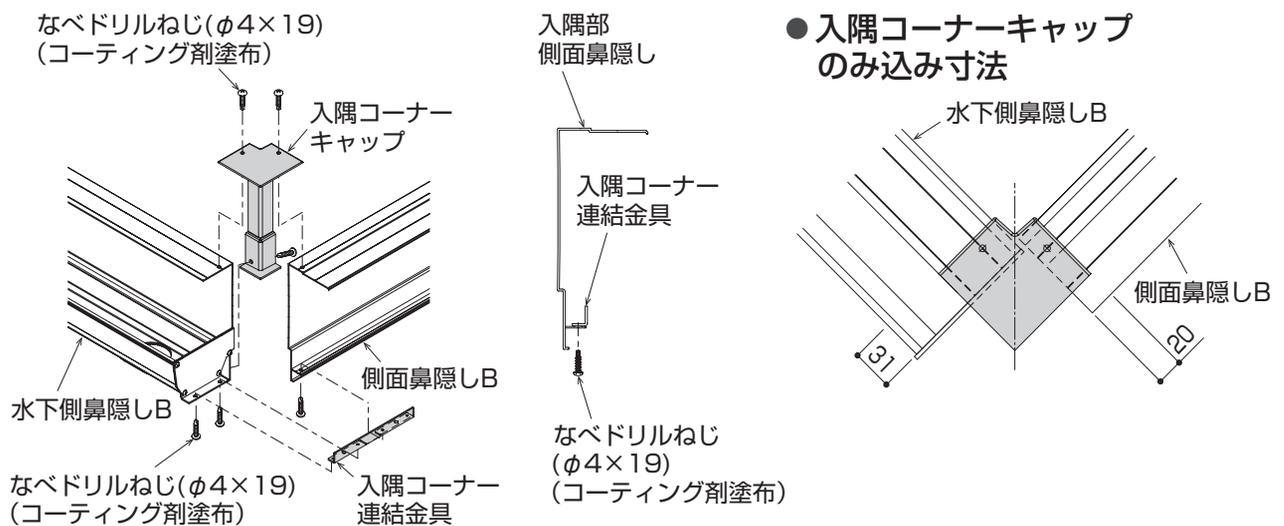


### 水下側鼻隠しBと側面鼻隠しBの連結

- 1 止水板を水下側鼻隠しBの両端部に取り付けてください。

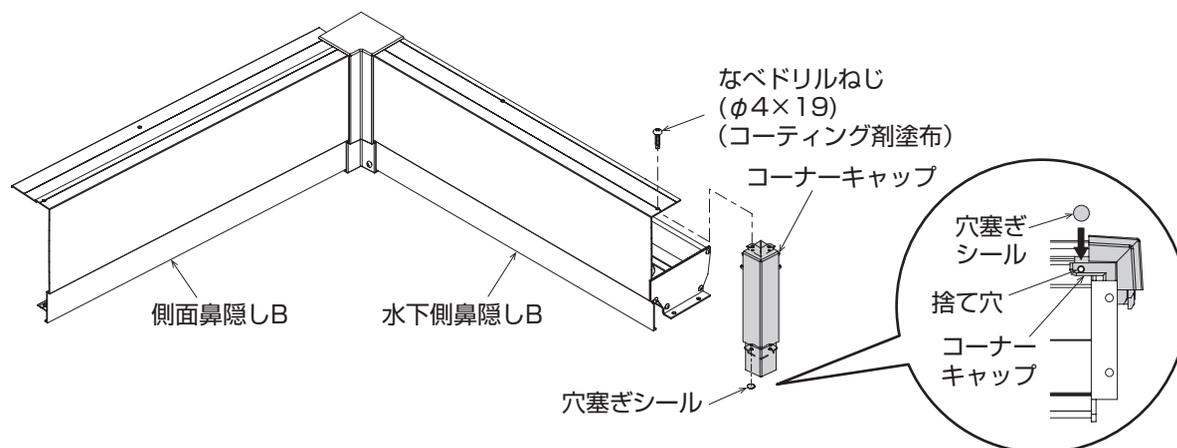


- 2 水下側鼻隠しBと側面鼻隠しBを入隅コーナー連結金具と入隅コーナーキャップで連結してください。



**3** コーナーキャップを水下側鼻隠しBの端部に取り付けてください。

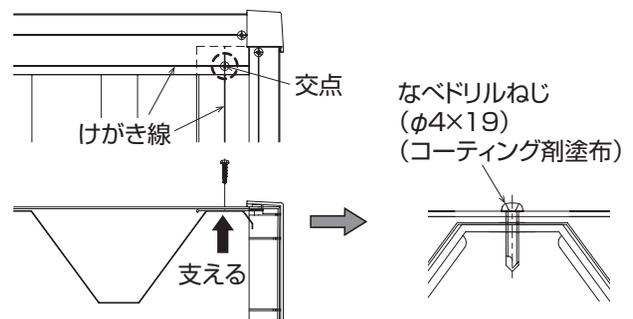
**4** 穴塞ぎシールをコーナーキャップの捨て穴に貼ってください。



## 入隅部の取り付け

### お願い

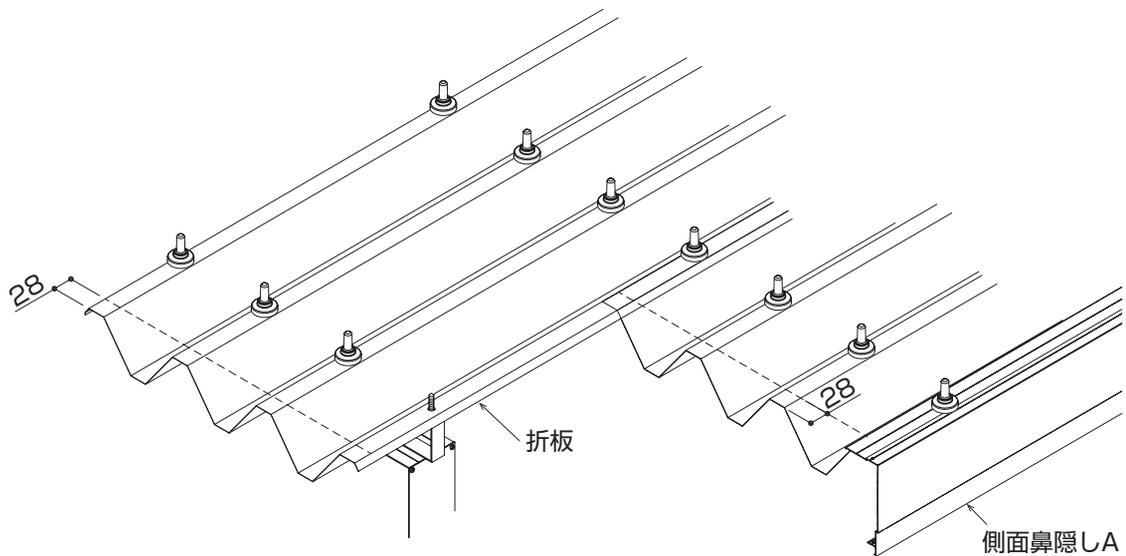
- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



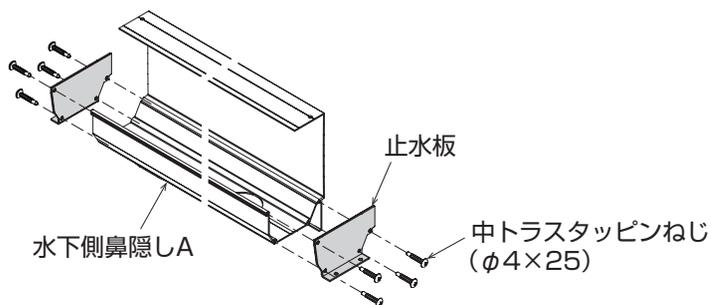
**1** 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



- 折板にけがき線などのキズをつけないでください。サビの原因となります。

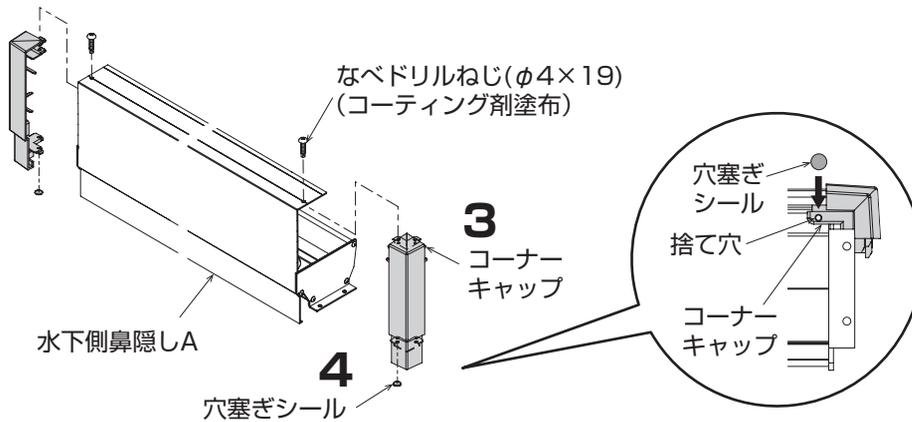


**2** 止水板を水下側鼻隠しAの両端部に取り付けてください。



**3** コーナーキャップを水下側鼻隠しAの両端部に取り付けてください。

**4** 穴塞ぎシールをコーナーキャップの捨て穴に貼ってください。



**5** 水下側鼻隠しBを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しAと連結してください。

**6** 水下側鼻隠しAを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しBと連結してください。

**7** 入隅部に梁が入る場合

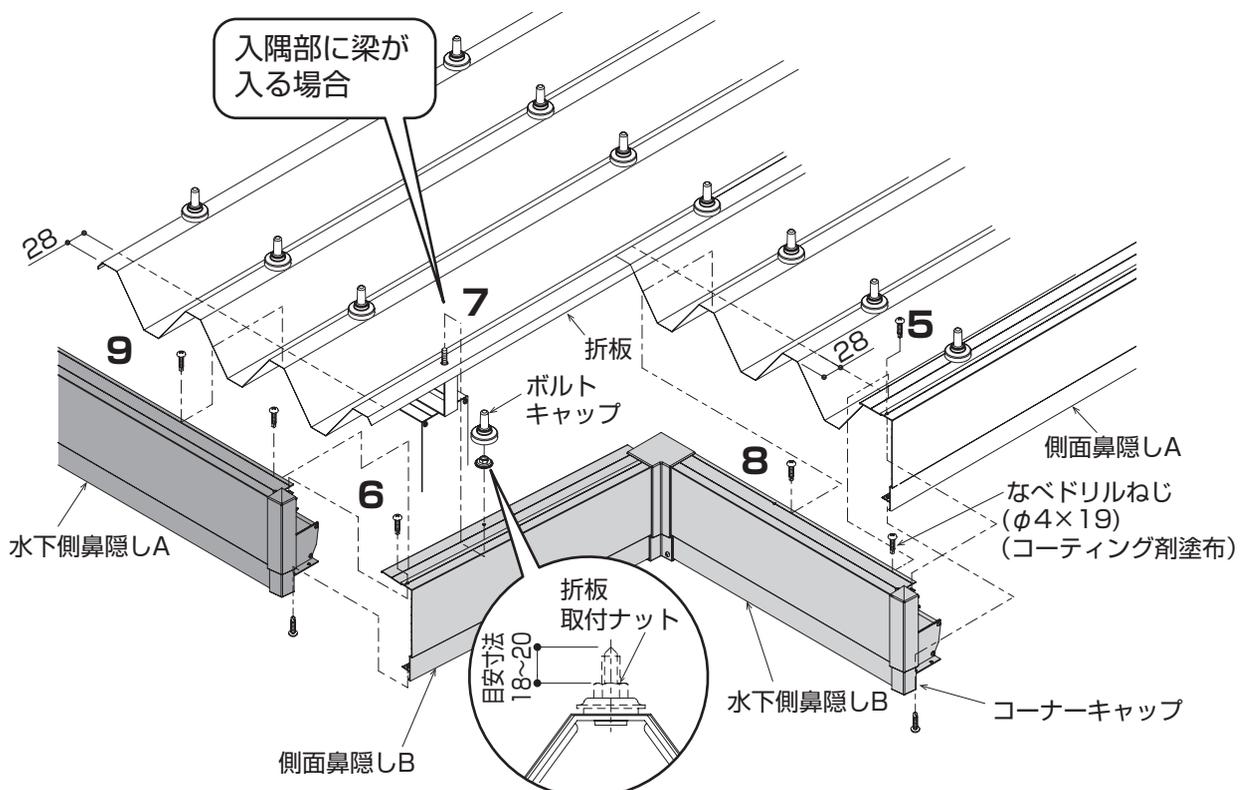
側面鼻隠しBを折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたきこんでください。

**8** 側面鼻隠しBと水下側鼻隠しBの穴にあわせ、現合で折板、水下側鼻隠しAと側面鼻隠しAに取り付けてください。

**9** 水下側鼻隠しAの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。

**お願い**

- 折板のねじは、垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



# 出隅 A の取り付け

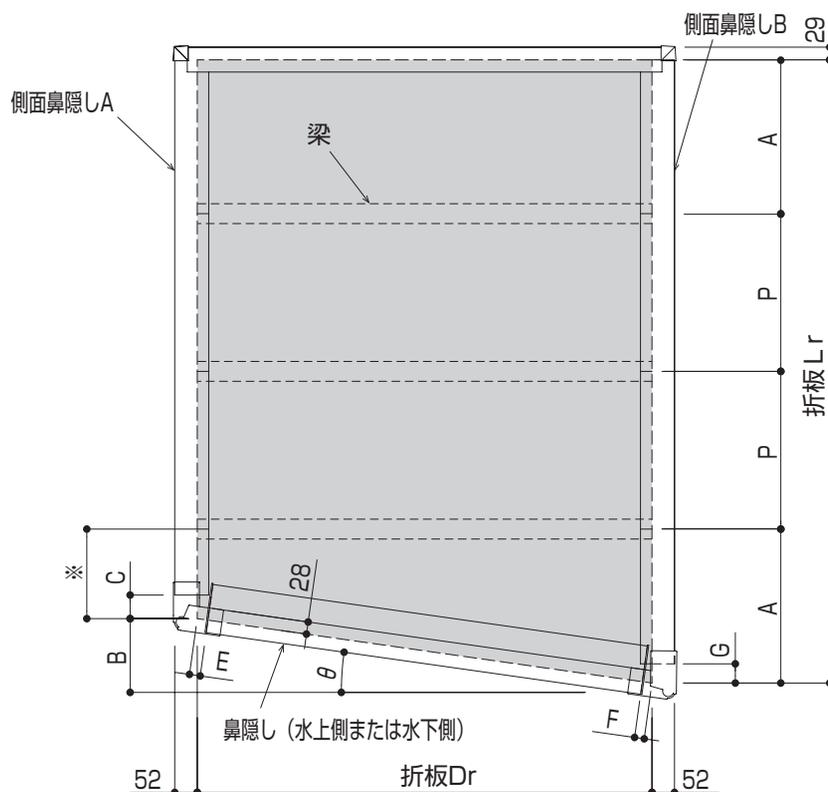
## 制作制限



• 4本柱の場合、折板の切り詰め寸法Bを500以下としてください。

• 図は、水下側の場合で示しています。

※：水上側切り詰めの場合110以上、水下側切り詰めの場合175以上



■単体／たて（2）連棟

	カーポート		折板屋根		対応可能変更敷地条件				
	側面から見た柱本数	呼称間口 D	呼称奥行 L	Dr	Lr	P	A	$\theta$	
単体／たて（2）連棟	2本	30	55	3000	5390	3100	1145	9.0°以下	
			60	3000	5900	3400	1250	9.0°以下	
		36	55	3600	5390	3100	1145	7.5°以下	
			60	3600	5900	3400	1250	7.5°以下	
		48	55	4800	5390	3100	1145	5.5°以下	
			60	4800	5900	3400	1250	5.5°以下	
		55	55	5400	5390	3100	1145	5.0°以下	
			60	5400	5900	3400	1250	5.0°以下	
		60	55	6000	5390	3100	1145	4.5°以下	
			60	6000	5900	3400	1250	4.5°以下	
		80	55	7800	5390	3100	1145	3.5°以下	
			60	7800	5900	3400	1250	3.5°以下	
	3本	30	55	3000	5390	1800	895	9.0°以下	
			60	3000	5900	2000	950	9.0°以下	
		36	55	3600	5390	1800	895	7.5°以下	
			60	3600	5900	2000	950	7.5°以下	
		48	55	4800	5390	1800	895	5.5°以下	
			60	4800	5900	2000	950	5.5°以下	
		55	55	5400	5390	1800	895	5.0°以下	
			60	5400	5900	2000	950	5.0°以下	
		60	55	6000	5390	1800	895	4.5°以下	
			60	6000	5900	2000	950	4.5°以下	
		4本	30	55	3000	5390	1400	595	7.0°以下
				60	3000	5900	1500	700	9.0°以下
36	55		3600	5390	1400	595	6.0°以下		
	60		3600	5900	1500	700	7.5°以下		
48	55		4800	5390	1400	595	4.0°以下		
	60		4800	5900	1500	700	5.5°以下		
55	55		5400	5390	1400	595	4.0°以下		
	60		5400	5900	1500	700	5.0°以下		
60	55		6000	5390	1400	595	3.5°以下		
	60		6000	5900	1500	700	4.5°以下		
80	55		7800	5390	1400	595	2.5°以下		
	60		7800	5900	1500	700	3.5°以下		

■間口延長／横（2）

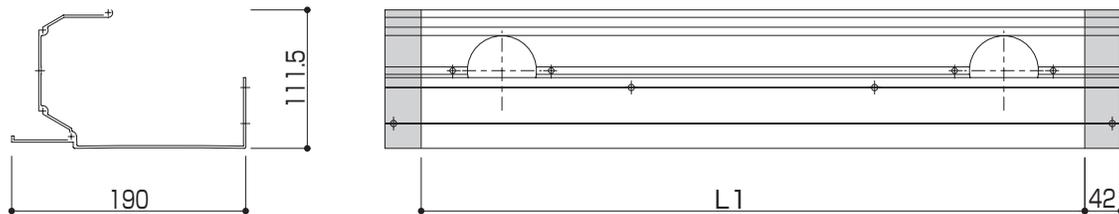
	カーポート		折板屋根		対応可能変更敷地条件					
	側面から見た柱本数	呼称間口 D	呼称奥行 L	Dr	Lr	P	A	$\theta$		
間口延長	2本	48+18	55	6600	5390	3100	1145	4.5°以下		
			60	6600	5900	3400	1250	4.5°以下		
		55+18	55	7200	5390	3100	1145	3.5°以下		
			60	7200	5900	3400	1250	3.5°以下		
		60+18	55	7800	5390	3100	1145	4.5°以下		
			60	7800	5900	3400	1250	4.5°以下		
		80+18	55	9600	5390	3100	1145	3.5°以下		
			60	9600	5900	3400	1250	3.5°以下		
		3本	48+18	55	6600	5390	1800	895	5.5°以下	
				60	6600	5900	2000	950	5.5°以下	
			55+18	55	7200	5390	1800	895	3.0°以下	
				60	7200	5900	2000	950	3.0°以下	
	60+18		55	7800	5390	1800	895	4.5°以下		
			60	7800	5900	2000	950	4.5°以下		
	4本	48+18	55	6600	5390	1400	595	3.0°以下		
			60	6600	5900	1500	700	4.0°以下		
		55+18	55	7200	5390	1400	595	3.0°以下		
			60	7200	5900	1500	700	3.5°以下		
		60+18	55	7800	5390	1400	595	2.5°以下		
			60	7800	5900	1500	700	3.5°以下		
		80+18	55	9600	5390	1400	595	2.0°以下		
			60	9600	5900	1500	700	2.5°以下		
		横（2）連棟	2本	55+55	55	10800	5390	3100	1145	2.5°以下
					60	10800	5900	3400	1250	2.5°以下
55+60				55	11400	5390	3100	1145	2.0°以下	
				60	11400	5900	3400	1250	2.0°以下	
60+60	55			12000	5390	3100	1145	2.0°以下		
	60			12000	5900	3400	1250	2.0°以下		
80+80	55			15600	5390	3100	1145	1.5°以下		
	60			15600	5900	3400	1250	1.5°以下		
3本	55+55			55	10800	5390	1800	895	2.5°以下	
				60	10800	5900	2000	950	2.5°以下	
	55+60			55	11400	5390	1800	895	2.0°以下	
				60	11400	5900	2000	950	2.0°以下	
	60+60		55	12000	5390	1800	895	2.0°以下		
			60	12000	5900	2000	950	2.0°以下		
4本	55+55		55	10800	5390	1400	595	2.0°以下		
			60	10800	5900	1500	700	2.0°以下		
	55+60		55	11400	5390	1400	595	1.5°以下		
			60	11400	5900	1500	700	2.0°以下		
	60+60		55	12000	5390	1400	595	1.5°以下		
			60	12000	5900	1500	700	2.0°以下		
	80+80		55	15600	5390	1400	595	1.0°以下		
			60	15600	5900	1500	700	1.5°以下		

## 切断・加工

- 図は、水下側の場合で示しています。
-  部は切断部を示しています。

### 鼻隠し（水上側または、水下側）

1 鼻隠し（水上側または、水下側）の右側を切断後、L1寸法に切断してください。



#### ■切断寸法表

寸法例	条件		$\theta$	出隅寸法	C	E	F	G	鼻隠し (水上側または水下側)
	Dr	Lr		$B=Dr \times \tan \theta$					$L1=Dr \div \cos \theta - E - F$
	5400	5390	$4^\circ$	378	51	15	23	46	5375

#### ■寸法公式（標準）

C		$36 \times \tan \theta - 13 / \cos \theta + 62$
$\theta < 5^\circ$ の場合	E	$13 \times \tan \theta - 36 / \cos \theta + 50$
$\theta < 5^\circ \sim 9^\circ$ の場合	E	$13 \times \tan \theta - 36 / \cos \theta + 60$
	F	$60 - 13 \times \tan \theta - 36 / \cos \theta$
	G	$62 - 36 \times \tan \theta - 13 / \cos \theta$

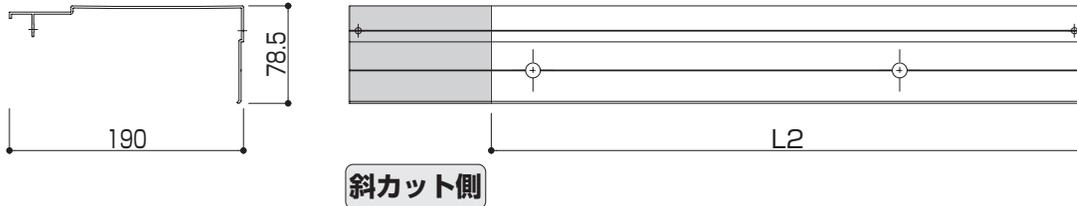
#### ■寸法表

$\theta$	標準			
	C	E	F	G
$1^\circ$				
$1.5^\circ$	50	14	24	48
$2^\circ$				
$2.5^\circ$	51	15	23	47
$3^\circ$				
$3.5^\circ$				
$4^\circ$				
$4.5^\circ$	52			46
$5^\circ$				
$6^\circ$	53	25	22	45
$7^\circ$				
$8^\circ$				
$8^\circ$	54			44
$9^\circ$	55	26	21	43

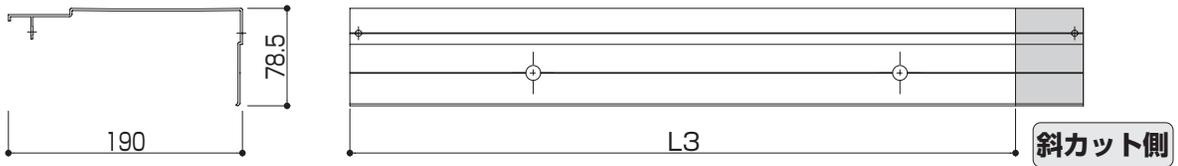
## 側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断してください。

### ●側面鼻隠しA



### ●側面鼻隠しB



### ■切断寸法表

寸法例	条件		$\theta$	出隅寸法	C	E	F	G	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr		$B=Dr \times \text{TAN} \theta$					$L2=Lr-B-C$	$L3=Lr-G$
		5400	5390	4°	378	51	15	23	46	4961

### ■寸法公式 (標準)

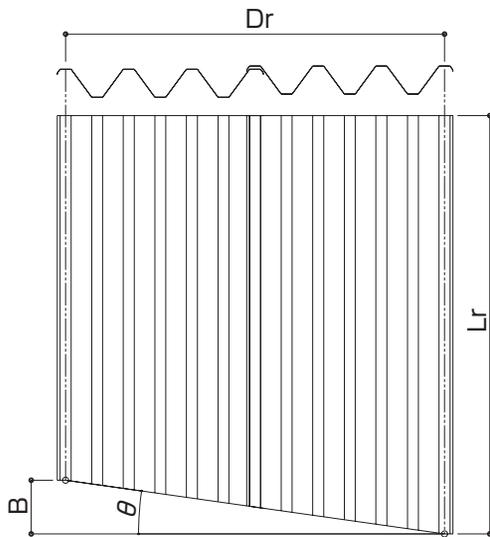
C		$36 \times \text{TAN} \theta - 13 / \text{COS} \theta + 62$
$\theta < 5^\circ$ の場合	E	$13 \times \text{TAN} \theta - 36 / \text{COS} \theta + 50$
$\theta < 5^\circ \sim 9^\circ$ の場合	E	$13 \times \text{TAN} \theta - 36 / \text{COS} \theta + 60$
	F	$60 - 13 \times \text{TAN} \theta - 36 / \text{COS} \theta$
	G	$62 - 36 \times \text{TAN} \theta - 13 / \text{COS} \theta$

### ■寸法表

$\theta$	標準			
	C	E	F	G
1°	50	14	24	48
1.5°				
2°				
2.5°	51	15	23	47
3°				
3.5°				
4°				
4.5°				
5°	52	25	22	45
6°				
7°				
8°	54	26	21	43
9°				

## 折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

### ■切断寸法表

寸法例	条件		出隅寸法
	Dr	Lr	$B = Dr \times \text{TAN} \theta$
	5400	5390	378

## 鼻隠しの取り付け

### 側面鼻隠しA、側面鼻隠しBの取り付け

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しA、側面鼻隠しBを取り付けてください。

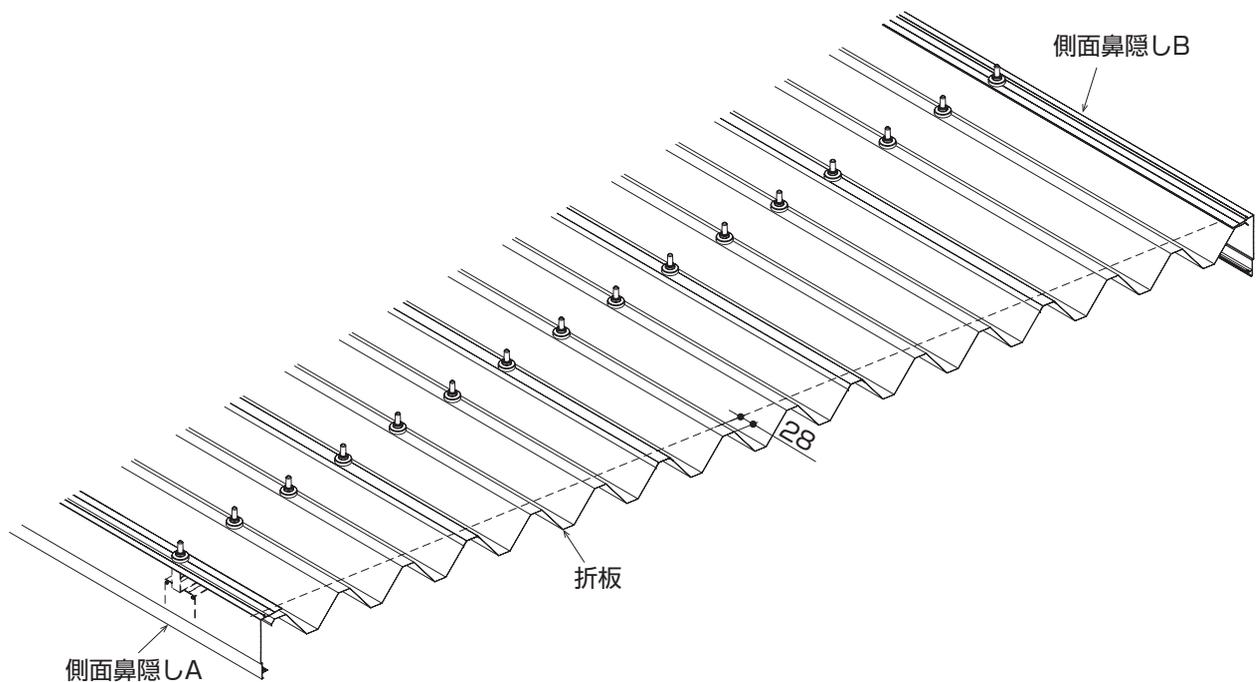
### 出隅部鼻隠しの取り付け

• 図は、水下側の場合で示しています。

1 折板の端部から28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



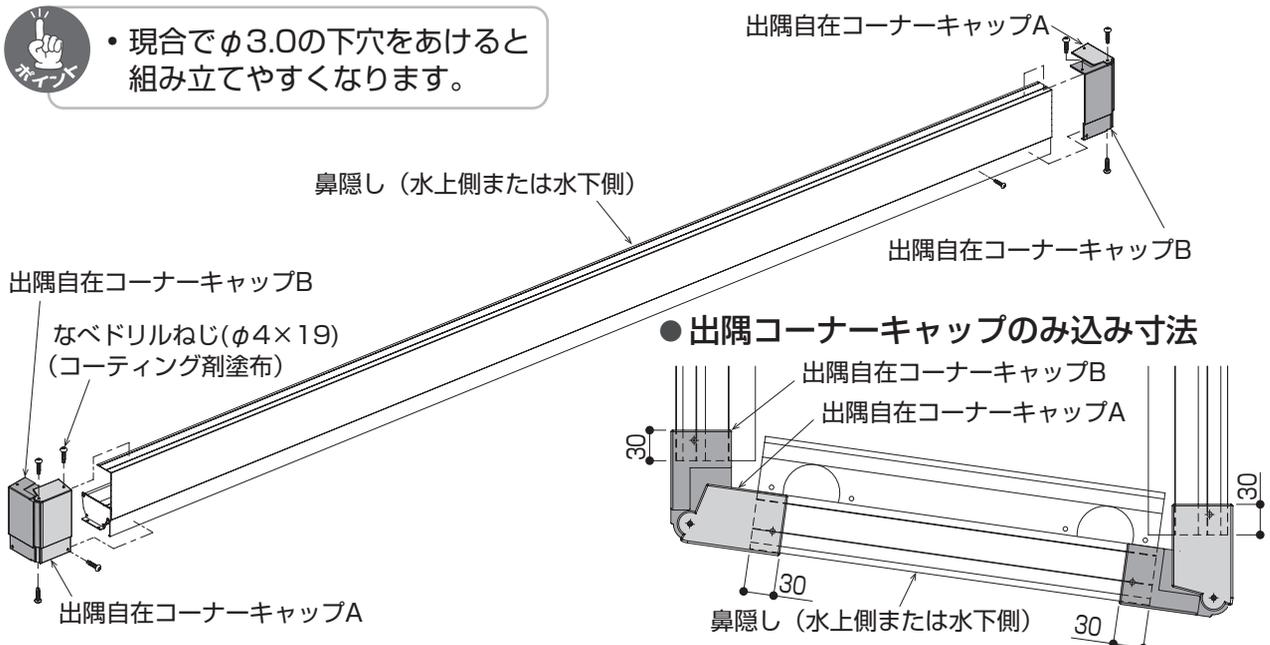
• 折板にけがき線などのキズをつけないでください。サビの原因となります。



2 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠し（水上側または水下側）の両端に取り付けてください。



• 現合でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。

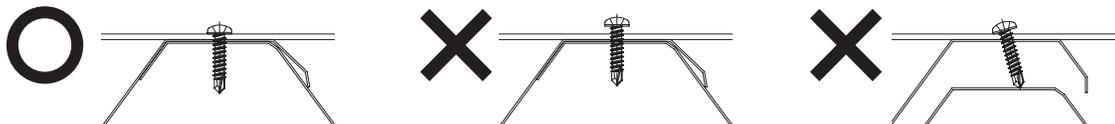


**3** 鼻隠し（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、側面鼻隠しBと連結してください。

**4** 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

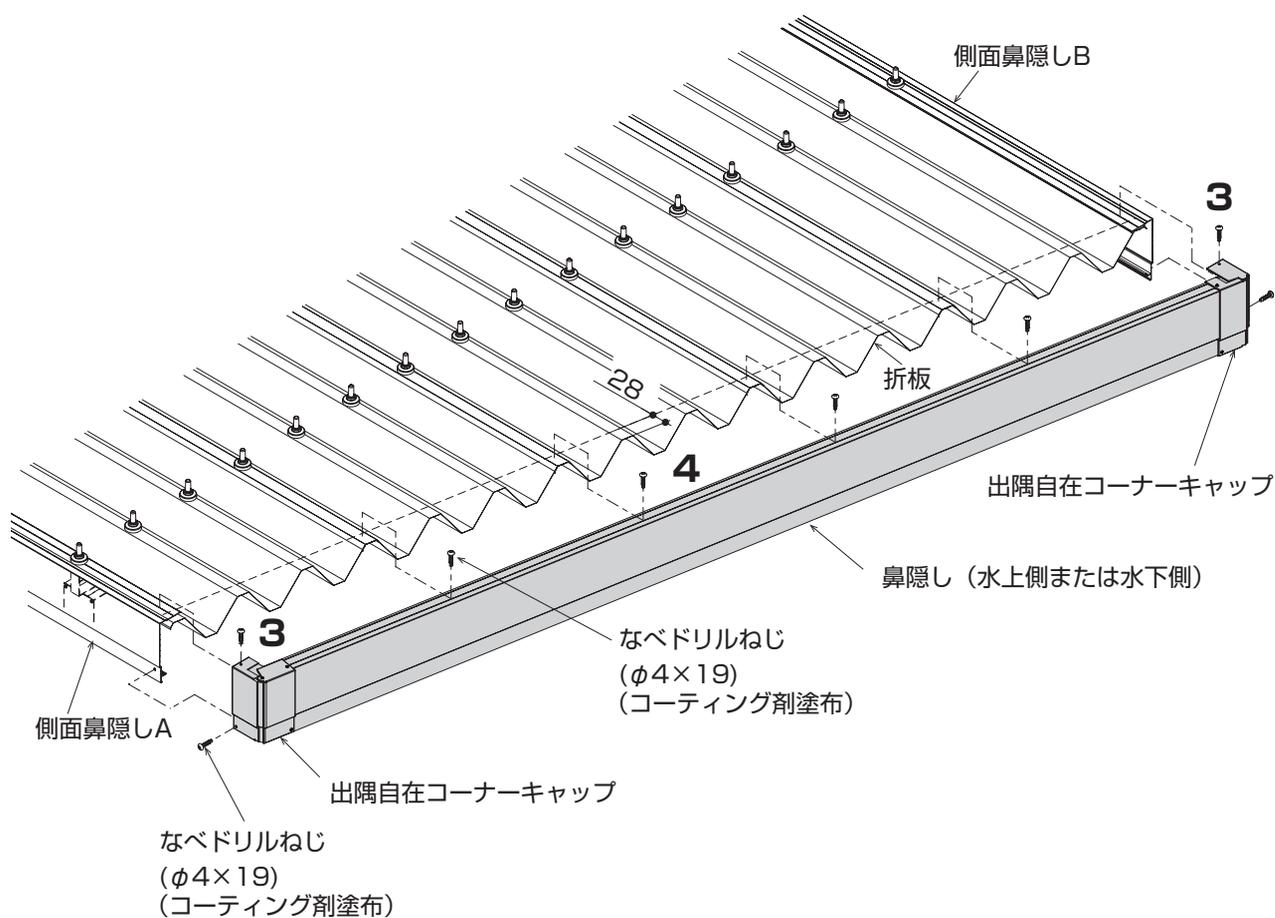
### お願い

- 折板のねじは、垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



### 鼻隠しの穴が折板の山の位置とあわない場合

- ① 現合で鼻隠しに穴（φ5）をあけてねじ留めしてください。
- ② 既存の穴を、シーリング材で塞いでください。



# 出隅B（右コーナー）の取り付け

## 制作制限



• 4本柱の場合、折板の切断寸法Bを500以下としてください。

### ■ 水下側の場合

A寸法は、雨水が雨樋に流れるようにするために、寸法例の寸法にて設定してください。

### ■ 寸法例

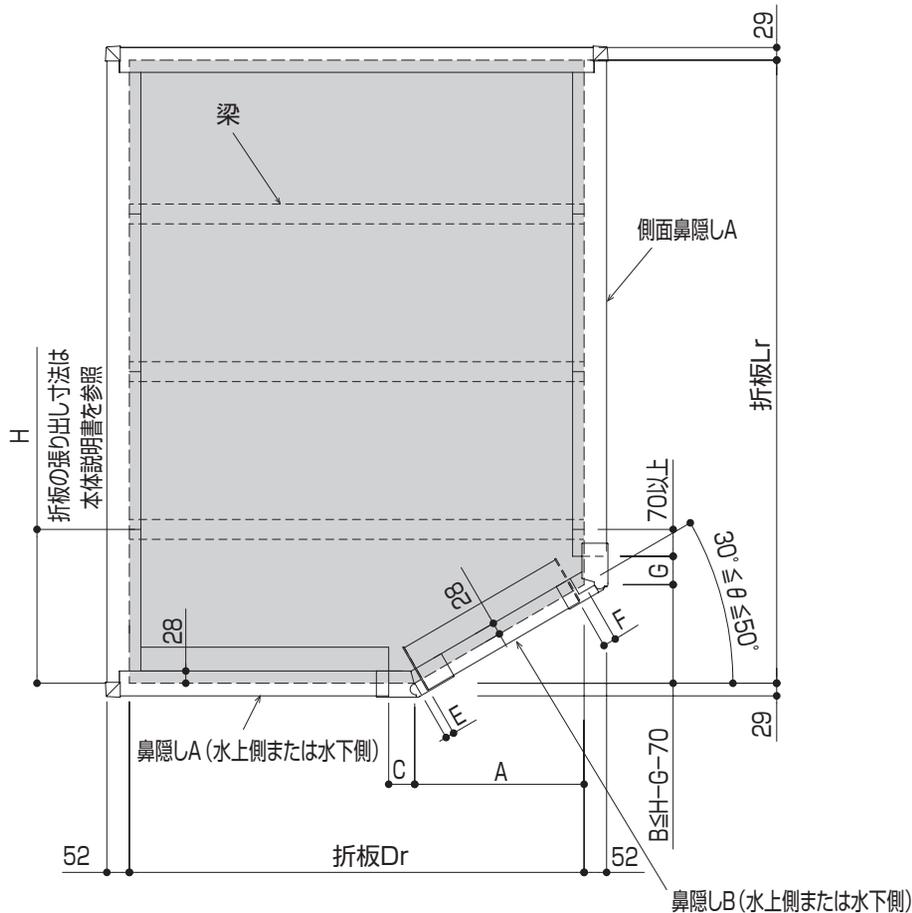
条件	出隅寸法	
	A	B =A×TANθ
30°	575	332
	375	217
	175	101
45°	175	175

### ■ 水上側の場合

出隅寸法Aは、出隅寸法Bの制限を満たし、規格の鼻隠し長さで足りるようにするために、A寸法制限にて、任意に設定してください。

### ■ A寸法制限

30° の場合	$130 \leq A \leq 675$
35° の場合	$125 \leq A \leq 590$
40° の場合	$115 \leq A \leq 425$
45° の場合	$110 \leq A \leq 315$
50° の場合	$100 \leq A \leq 230$



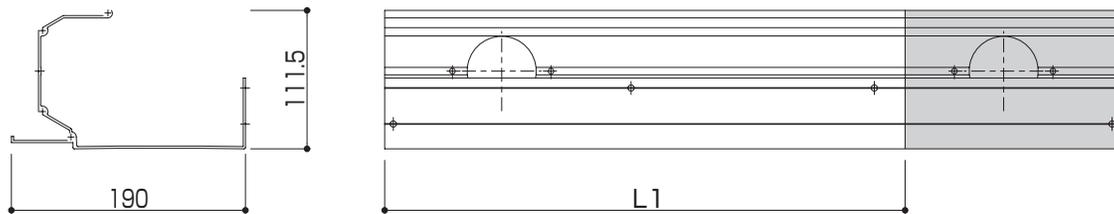
## 切断・加工

- 図は、水下側の場合で示しています。
-  部は切断部示しています。

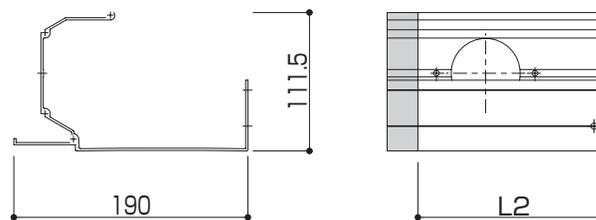
### 鼻隠し（水上側または水下側）

1 鼻隠し（水上側または水下側）を切断してください。

● 鼻隠しA（水上側または水下側）



● 鼻隠しB（水上側または水下側）

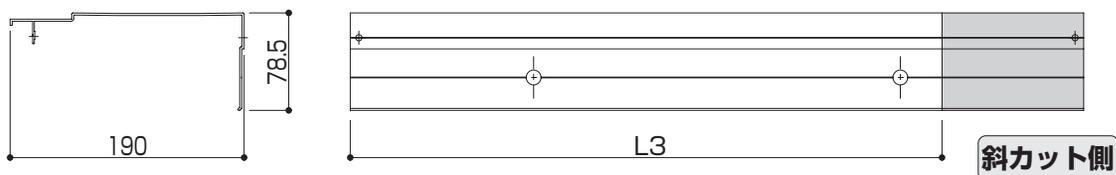


### ■ 切断寸法表

寸法例	条件			折板		C	E	F	鼻隠しA (水上側または水下側)	鼻隠しB (水上側または水下側)
	Dr	Lr	$\theta$	A	B $=A \times \text{TAN} \theta$				L1 $=Dr - A - C + 23$	L2 $=A / \text{COS} \theta - E - F$
5400 5390			30°	575	332	60	20	30	4788	614
				375	217				4988	383
				175	101				5188	152
			45°	175	175				5188	187

## 側面鼻隠しA

1 側面鼻隠しAを切断してください。

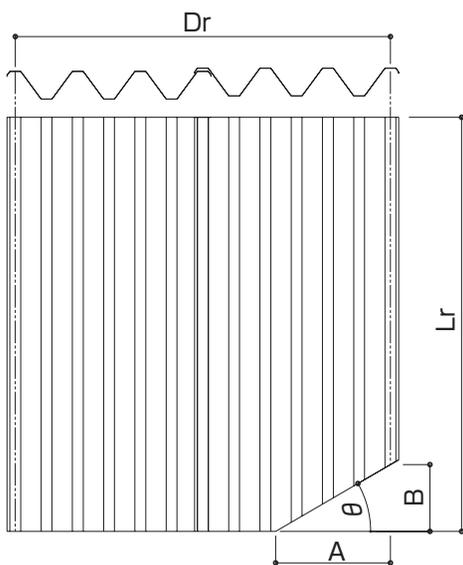


### ■切断寸法表

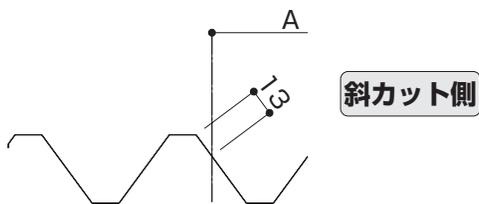
寸法例	条件			折板		G	側面鼻隠し
	Dr	Lr	$\theta$	A	B =A×TAN $\theta$		L3 =Lr-B-G
5400	5390	30°	575	332	70	4988	
			375	217		5103	
			175	101		5219	
		45°	175	175	80	5135	

## 折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。



### ■切断寸法表

寸法例	条件			出隅寸法	
	Dr	Lr	$\theta$	A	B =A×TAN $\theta$
5400	5390	30	575	332	
			375	217	
			175	101	
		45	175	175	

## 鼻隠しの取り付け

### 側面鼻隠しAの取り付け

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。

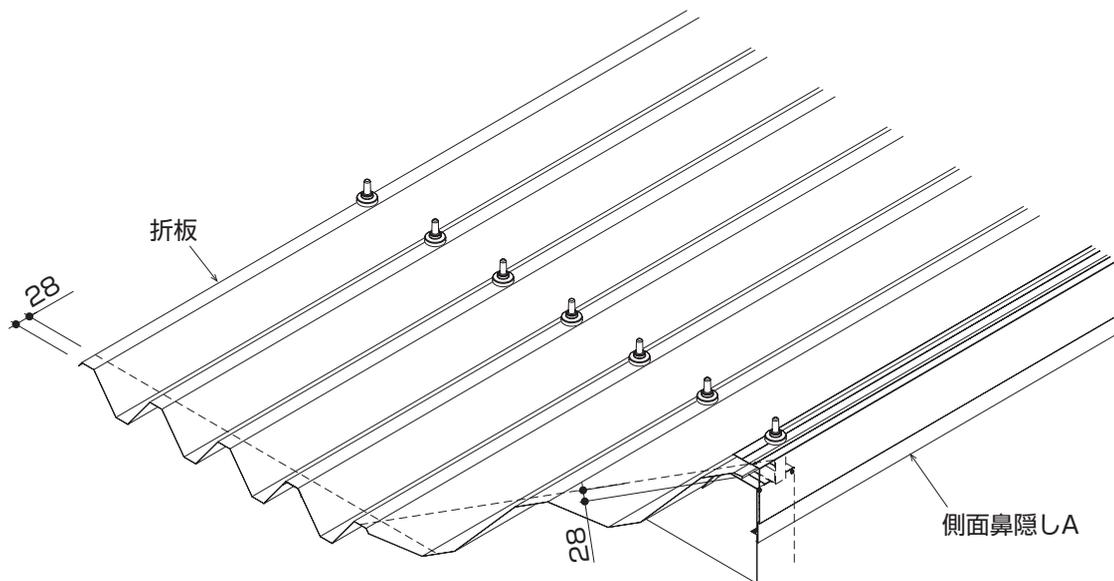
### 出隅部鼻隠しの取り付け

• 図は、水下側の場合をで示しています。

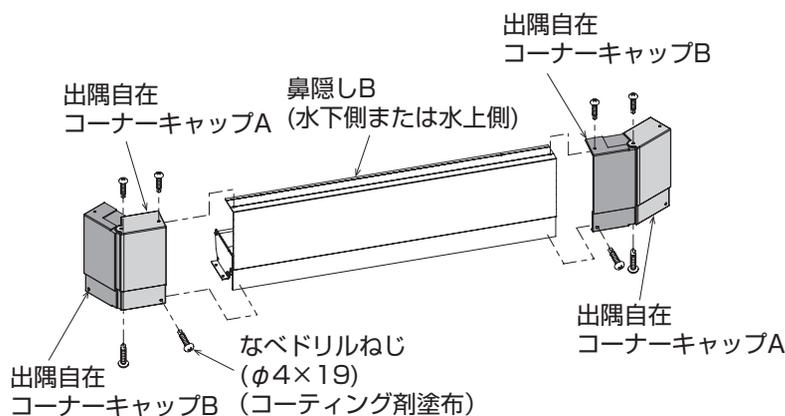
1 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



• 折板にけがき線などのキズをつけるとサビの原因となります。



2 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠しB（水上側または水下側）の両端に取り付けてください。

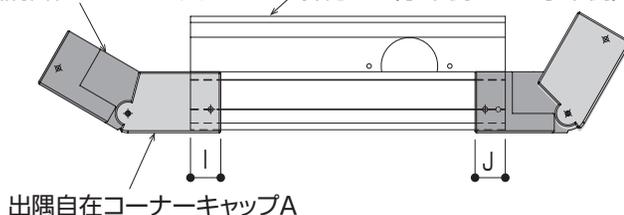


• 現合でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。

$\theta$	I	J
30°	69	28
45°	52	29

### ● 出隅コーナーキャップのみ込み寸法

出隅自在コーナーキャップB 鼻隠しB（水下側または水下側）

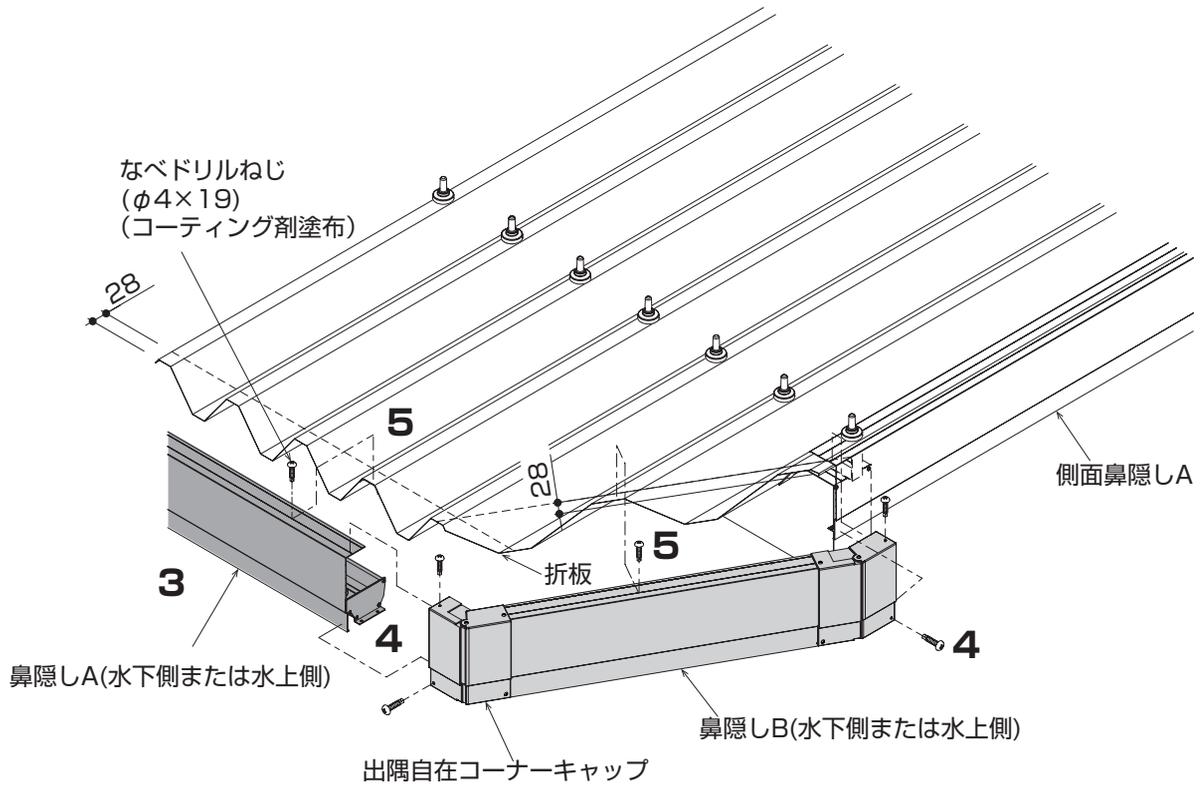


出隅自在コーナーキャップA

- 3** 鼻隠しA（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 4** 鼻隠しB（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、鼻隠しA（水上側または水下側）と連結してください。
- 5** 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。

**お願い**

• 折板のねじは、垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



# 出隅B（左コーナー）の取り付け

## 制作制限



• 4本柱の場合、折板の切断寸法Bを500以下としてください。

### ■ 水下側の場合

A寸法は、雨水が雨樋に流れるようにするために、寸法例の寸法にて設定してください。

### ■ 寸法例

条件	出隅寸法	
$\theta$	A	$B = A \times \tan \theta$
30°	600	346
	400	231
	200	115
45°	215	215

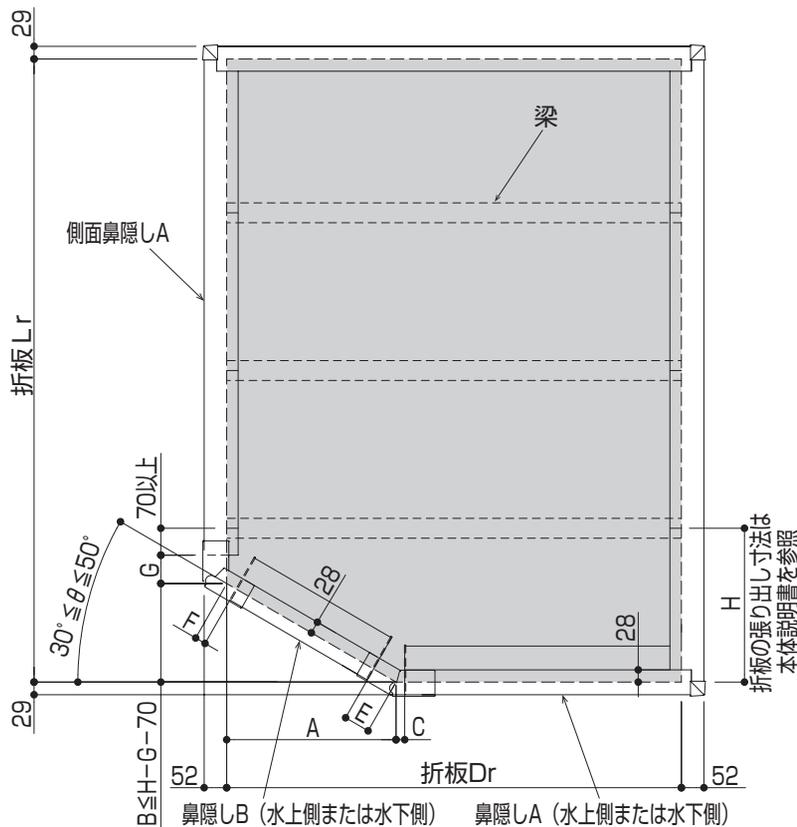
### ■ 水上側の場合

出隅寸法Aは、出隅寸法Bの制限を満たし、規格の鼻隠し長さで足りるようにするために、A寸法制限にて、任意に設定してください。

### ■ A寸法制限

30°の場合	$130 \leq A \leq 675$
35°の場合	$125 \leq A \leq 590$
40°の場合	$115 \leq A \leq 425$
45°の場合	$110 \leq A \leq 315$
50°の場合	$100 \leq A \leq 230$

• 図は、水下側の場合で示しています。



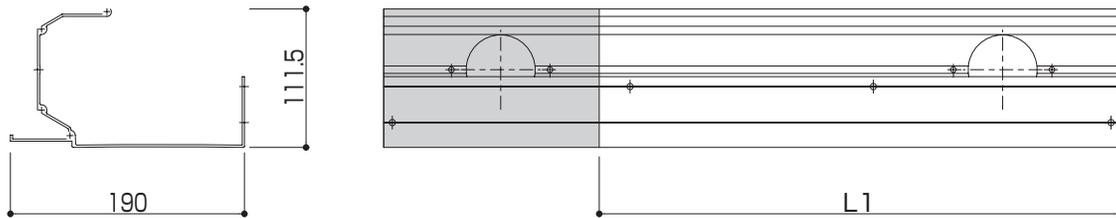
## 切断・加工

- 図は、水下側の場合で示しています。
-  部は切断部を示しています。

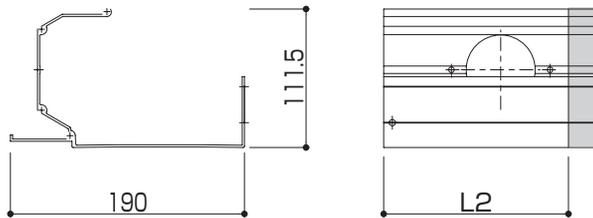
### 鼻隠し（水上側または、水下側）

1 鼻隠し（水上側または、水下側）を切断してください。

● 鼻隠しA（水上側または水下側）



● 鼻隠しB（水上側または水下側）

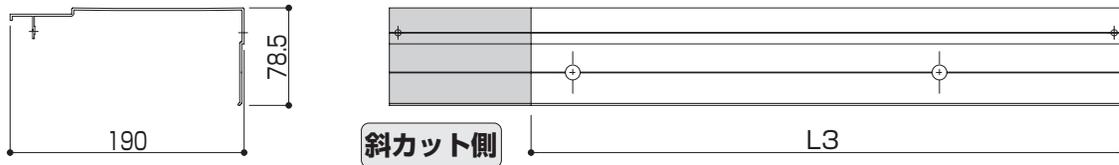


### ■ 切断寸法表

寸法例	条件		$\theta$	出隅寸法		C	E	F	鼻隠しA	鼻隠しB
	Dr	Lr		A	B				(水上側または水下側)	(水上側または水下側)
				$=A \times \text{TAN} \theta$				L1	L2	
5400	5390	30°	600	346	20	60	25	$=Dr - A - C + 23$	$=A / \text{COS} \theta - E - F$	
			400	231				4803	608	
			200	115				5003	377	
		45°	215	215	30	65	25	5203	146	
								5178	214	

## 側面鼻隠しA

1 側面鼻隠しAを切断してください。

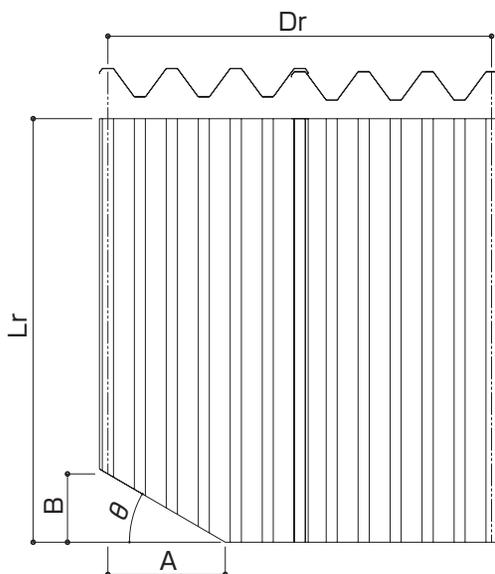


### ■切断寸法表

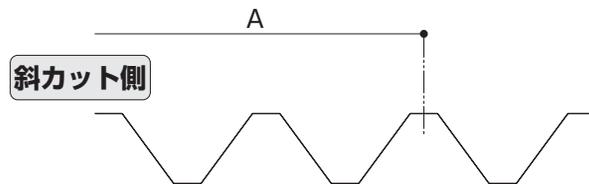
寸法例	条件		$\theta$	出隅寸法		G	側面鼻隠し
	Dr	Lr		A	B =A×TAN $\theta$		L3 =Lr-B-G
5400	5390	30°	600	346	70	4974	
			400	231		5089	
			200	115		5205	
		45°	215	215	80	5095	

## 折板

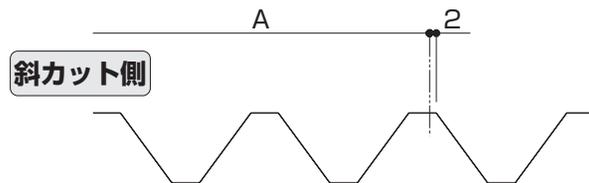
1 折板を切断してください。



### ● $\theta 30^\circ$ の場合



### ● $\theta 45^\circ$ の場合



### ■切断寸法表

寸法例	条件		$\theta$	出隅寸法	
	Dr	Lr		A	B =Dr×TAN $\theta$
5400	5390	30	600	346	
			400	231	
			200	115	
		45	215	215	



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

## 鼻隠しの取り付け

### 側面鼻隠しAの取り付け

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。

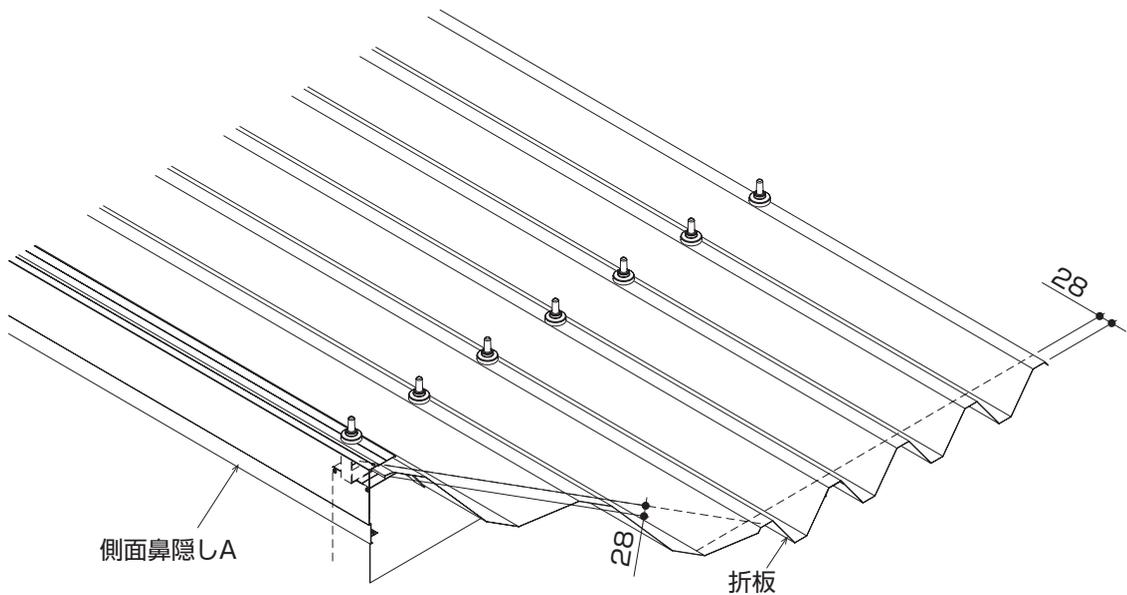
### 出隅部鼻隠しの取り付け

・図は、水下側の場合で示しています。

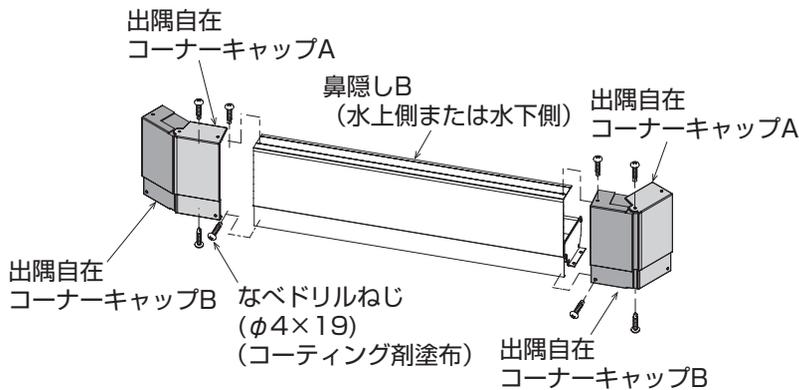
1 折板の端部から28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



・折板にけがき線などのキズをつけるとサビの原因となります。



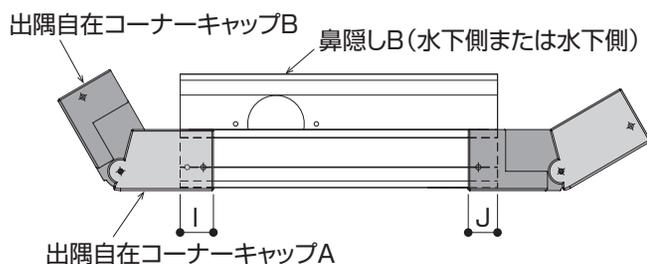
2 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠しB(水上側または水下側)の両端に取り付けてください。



・現合でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。

$\theta$	I	J
30°	33	29
45°	29	22

### ● 出隅コーナーキャップのみ込み寸法



- 3** 鼻隠しA(水上側または水下側)を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 4** 鼻隠しB(水上側または水下側)を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、鼻隠しA(水上側または水下側)と連結してください。
- 5** 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

### お願い

- 折板のねじは、垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。

